

はじめてPro-face Remote HMI/Pro-face Remote HMI Client for Win を
ご使用いただくお客様へ

導入・設定の“基礎”がわかる

Pro-face Remote HMI/Pro-face Remote HMI Client for Win クイックガイド

Pro-face Remote HMI
Remote Monitoring Software for mobile



Pro-face Remote HMI/Pro-face Remote HMI Client for Winのご紹介

Pro-face Remote HMIとは、表示器の画面をiOS、またはAndroid OSのタブレットやスマートフォン上で監視・操作できるソフトウェアです。

Remote HMI Client for Winとは、表示器の画面をWindows OSのタブレットやPC上で監視・操作できるソフトウェアです。

GP-Pro EX側もスマートデバイス側も設定が簡単で、無線LANまたは3G/4G/LTEの電話回線を経由して通信できます。



システム構成

カテゴリー	製品	詳細
表示器	iOS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi/spec/PFXEXRHIOSV%2A%2A Android OS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi/spec/PFXEXRHANDV%2A%2A Windows OS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi_client/spec/remotehmi_client	対象機種毎の対応GP-Pro EXバージョンはHPをご確認ください。 画面作成ソフト、または本体オフラインの「本体設定」⇒「遠隔監視設定」⇒「Pro-face Remote HMI」で設定を行います。
画面作成ソフトウェア		
無線LAN	市販Wi-Fiルーター ※	3G/4G/LTEの場合、お客様にてルーターやVPN環境の構築が必要
スマートデバイス	iOS (iPad、iPhoneなど)、Androidタブレット/スマートフォン、またはWindows OS	iOS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi/spec/PFXEXRHIOSV%2A%2A Android OS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi/spec/PFXEXRHANDV%2A%2A Windows OS版 https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi_client/spec/remotehmi_client
スマートデバイスソフトウェア	Pro-face Remote HMI Pro-face Remote HMI Client for Win	Proface Remote HMI: iTunes Store/App Store または Google Play Store より購入/ダウンロード Pro-face Remote HMI Client for Win: 各販売代理店様よりライセンスを購入。 Pro-faceウェブサイトより製品をダウンロード。

※ 通信距離が長く、障害物の影響が少ない IEEE802.11ac(Draft) または IEEE802.11n 規格に対応したものをお勧めします。

Pro-face Remote HMIを入手するには？

iTunes Store/App Store または Google Play Store でご購入いただけます。
インストールまでの流れは以下のとおりです。

Apple iPad/iPhoneの場合

Step ① Apple IDの取得



iTunes Store/App Store で

- ・メールアドレス
 - ・プロフィール
 - ・クレジットカード ※
- を登録し Apple ID を取得します。

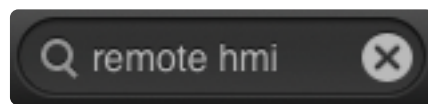
※ iTunes カードで決済される方は、必要ありません。

Step ② クレジットのチャージ



コンビニ等で iTunes カード を購入し、
裏面コードを iTunes Store/App Store へ入力
※ クレジットカード決済される方は必要ありません。

Step ③ 購入/インストール



iTunes Store/App Store で
「proface remote hmi」と入力し検索
Pro-face Remote HMI を購入すると
自動的にインストールが始まります。

Pro-face Remote HMI を入手するには？

iTunes Store/App Store または Google Play Store でご購入いただけます。
インストールまでの流れは以下のとおりです。

Android 端末の場合

Step ① Googleアカウントの取得



Google Play Store で
プロフィール
を登録しメールアドレスを取得します。

必要に応じてクレジットカード追加などを行います。

※ Google Playギフトカードで決済される方は、必要ありません。

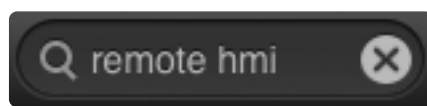
Step ② クレジットのチャージ



コンビニ等で Google Playギフトカード (※1) を購入し、背面に記載されたコードをGoogle Play Storeへ入力します。

※1 クレジットカード決済などされる方は必要ありません。

Step ③ 購入／インストール



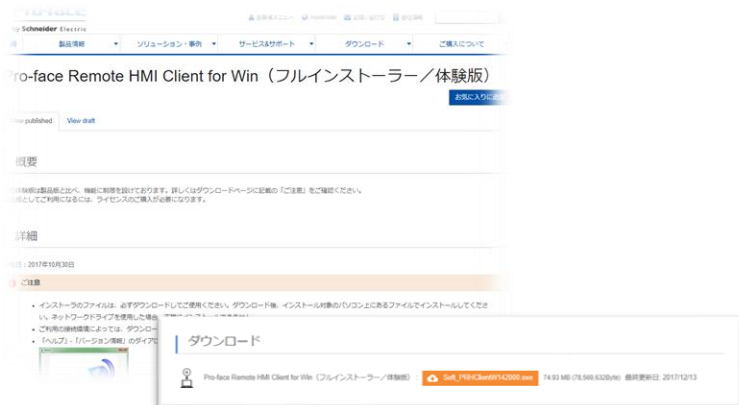
Google Play Store で
「**proface remote hmi**」と入力し検索
Pro-face Remote HMI を購入すると
自動的にインストールが始まります。

Pro-face Remote HMI Client for Winを入手するには？

各販売代理店様よりライセンスをご購入いただけます。
ライセンス割り当てまでの流れは以下のとおりです。

Windows OSの場合

Step ① インストール



Pro-faceウェブサイトより製品をインストールします。
(<https://www.proface.com/ja/node/23750>)

ソフトウェア(.exe)はホームページからのみダウンロード可能です。

初回起動時から15日間は体験版をご利用いただけます。全ての機能をご利用可能です。16日目以降は表示器への接続ができなくなります。キーコードを入力することで製品版の全ての機能が利用できるようになります。

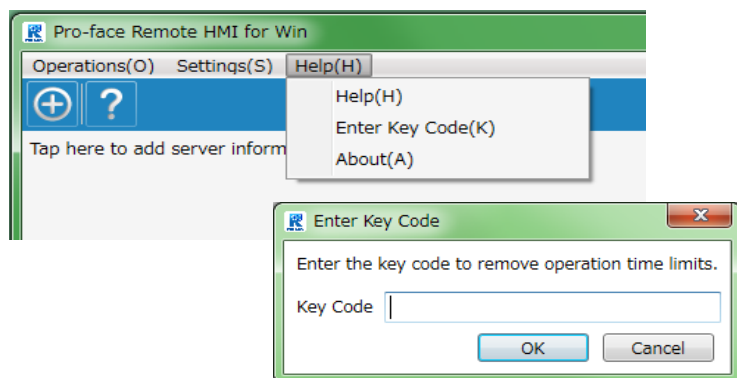
Step ② 購入

製品名	型式	製品概要
Pro-face Remote HMI Client for Win	PFXEXRHCLS	1ライセンス
Pro-face Remote HMI Client for Win 10	PFXEXRHCLS10	10ライセンス
Pro-face Remote HMI Client for Win 30	PFXEXRHCLS30	30ライセンス

各販売代理店様よりライセンスをお買い求めください。

※クライアント1台につき1ライセンスが必要です。

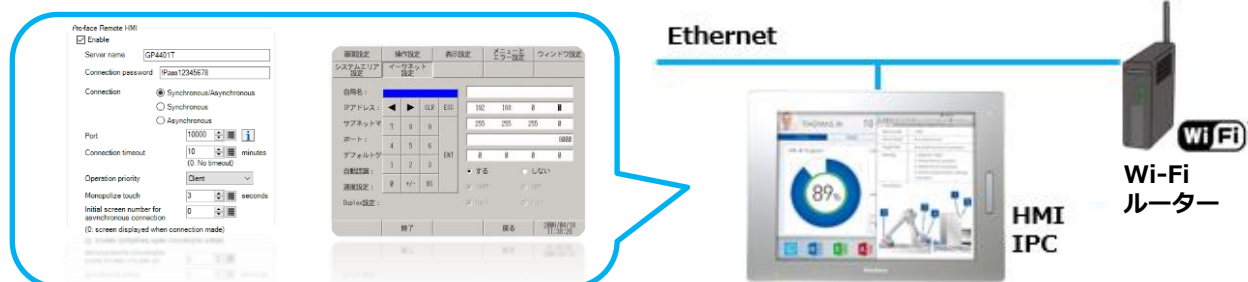
Step ③ キーコードの入力



本製品を起動して [ヘルプ] - [キーコード入力] でライセンスキーコードの入力します。

表示器の設定

Pro-face Remote HMI/Pro-face Remote HMI Client for Winを動作させるため表示器、画面作成ソフトで各種設定を行います。



Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Winの設定

GP-Pro EX または 表示器本体のどちらでも設定できます。

■ GP-Pro EX での設定

プロジェクトウィンドウ

⇒ 本体設定

⇒ 遠隔監視設定

(Pro-face Remote HMI 設定)

■ 表示器本体 での設定

オフライン

⇒ 本体設定

⇒ 遠隔監視設定

⇒ Pro-face Remote HMI 設定

Pro-face Remote HMI

- ① 使用する
- ② サーバ名
- ③ 接続パスワード
- ④ 接続モード
 - 同期/非同期
 - 同期
 - 非同期
- ⑤ ポート番号 ⓘ
- ⑥ 接続タイムアウト時間 min
(0: 接続タイムアウトなし)
- ⑦ 表示器の負荷調整
- ⑧ タッチ操作の占有時間 sec
- ⑨ 非同期接続時の初期画面番号
(0: 接続時に表示されている画面)
- ⑩ タッチ操作の占有制御
コントロールワードアドレス
- ⑪ アラームモニターを使用する
取得モード
- ⑫ 切断検知時間(#H_RemoteHMI_DisconnectMode)の初期値 sec
- ⑬ 複数クライアントからの同時接続を許可する
(最大同時接続数: 5)
- ⑭ 非同期画面を接続機器から切り替える
画面番号制御アドレス

- ① 「使用する」にチェックを付けてください。
- ② Pro-face Remote HMI 上での表示器名です。1～32文字で設定してください。
- ③ 表示器に接続するときのパスワードです。8～16文字で設定してください。
- ④ クライアントがサーバーに接続する際に許可する接続方法を「同期/非同期」「同期」「非同期」の3種類の接続モードから選択してください。
- ⑤ ローカルルーター接続：10000 に設定してください。
ネットワークサーバー接続：管理者にお問い合わせください。
- ⑥ Pro-face Remote HMIに触らなければ、設定時間で切断されます。
1～60分で設定してください。
- ⑦ 「クライアント優先」に設定してください。
表示器が処理落ちする場合のみ「通常」に設定します。
- ⑧ 「3秒」で設定してください。0～30秒まで設定できます。
長く操作したいがタッチが断続的になる場合のみ、占有時間を増やしてください。
- ⑨ 通常は「0」のままお使いください。
例えば、非同期モードはI/Oチェックでしか使わないという場合は、I/Oチェック画面番号をここに設定します。
- ⑩ 設定した任意のワードアドレスの以下2ビットで制御します。
0ビット目= 0:強制占有OFF/1:強制占有ON
1ビット目=0:サーバー側/1:クライアント側
- ⑪ サーバリストに登録しているサーバー情報を監視し、アラーム発生時に表示を更新して知らせる機能です。
「ヒストリ/アクティブ」「ログ」から選択できます。
- ⑫ 通信が途中で停止、断線した場合にシステム変数で指定した時間内に切断を検知する機能です。
- ⑬ サーバーに対して複数台のクライアントの接続を許可するかを設定します。
- ⑭ 接続機器を使って、非同期モードに設定しているクライアントの画面を切り替えます。

表示器の設定

アイコンの表示時間

表示器、Pro-face Remote HMI/ Pro-face Remote HMI Client for Win どちらが占有しているかを示したアイコンの表示時間を GP-Pro EX で設定できます。

■ GP-Pro EX での設定

プロジェクトウィンドウ

⇒ 本体設定

⇒ 動作設定 (SD/USB取り外し設定)

SD/USB取り外し設定

アイコン表示位置 右下 ▼ 表示時間 10 sec

0秒：常時表示
1～60秒：指定時間でアイコンが消えます

IPアドレスの設定

ローカルルーターに合わせたIPを割り当てます。表示器本体で設定します。

■ 表示器本体 の設定

オフライン

⇒ 本体設定

⇒ イーサネット設定

画面設定	操作設定	表示設定	メニューとエラー設定	ウィンドウ設定
システムエリア設定	イーサネット設定			
自局名： IPアドレス： サブネットマ： ポート： デフォルトゲ： 自動認識： 速度設定： Duplex設定：	◀ ▶ CLR ESC 7 8 9 4 5 6 1 2 3 0 +/- BS	ENT 192 168 0 1 255 255 255 0 8000 0 0 0 0	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input checked="" type="radio"/> 100M <input type="radio"/> 10M <input checked="" type="radio"/> Half <input type="radio"/> Full	① ② ③ ④ ⑤
	終了		戻る	2006/04/18 11:38:26

■ ローカルルーターの IPアドレス 192.168.2.1 サブネットマスク 255.255.255.0 の場合

- ① 空白で問題ありません。
- ② 192.168.2.2 ~ 192.168.2.255 (末尾3ケタがルーターと重ならない設定にしてください)
- ③ 255.255.255.0
- ④ 8000
- ⑤ 0.0.0.0

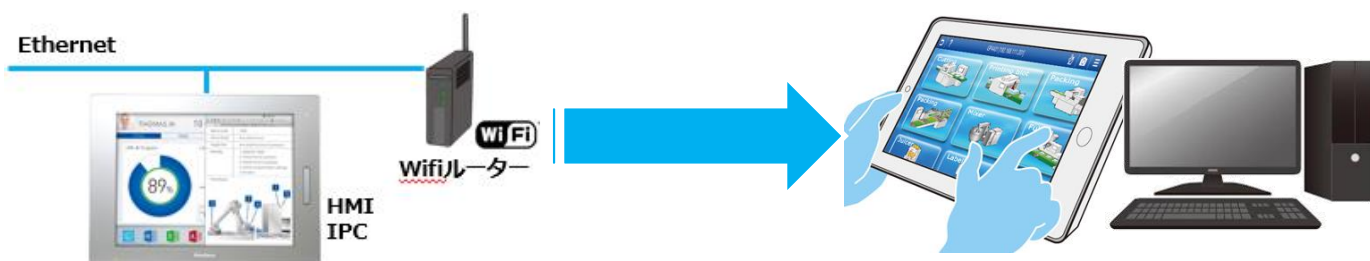
■ ローカルルーターの IPアドレス 192.168.1.1 サブネットマスク 255.255.247.0 の場合

- ① 空白で問題ありません。
- ② 192.168.1.2 ~ 192.168.1.255 (末尾3ケタがルーターと重ならない設定にしてください)
- ③ 255.255.247.0
- ④ 8000
- ⑤ 0.0.0.0

ネットワークサーバへ接続される場合は、管理者へお問い合わせください。

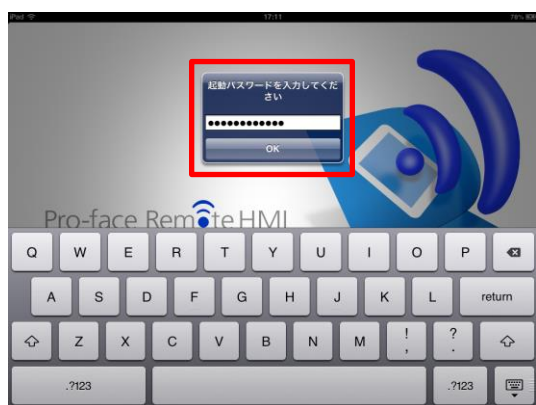
スマートデバイスの設定

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Win を起動し、表示器の登録/接続を行います。



表示器の登録

本誌ではiOSを使用した設定をご紹介します。



1. 起動パスワード入力

Pro-face Remote HMIを起動
⇒ 任意のパスワードを入力
(次回からの起動パスワードになります)

入力可能文字数	8~16文字
入力可能文字	ASCII文字、半角英数記号 * 英大文字、英小文字、数字、記号それぞれ最低1文字含んでいること
使用可能記号	` ~ ! @ # \$ % ^ & * () _ - + = { } [] ¥ : ; " ' < > , . ? /



2. サーバーの自動登録

サーバーリスト画面右上ボタン
⇒ 「サーバー自動登録」

Pro-face Remote HMI Client for Winを使用の場合は
サーバーリスト画面の左上の[操作]メニュー
⇒ 「サーバー自動登録」



3. 手動でサーバー追加

手動でサーバーの追加も可能です。
サーバーリスト画面右上ボタン
⇒ 「追加」
もしくは左上+ボタン

Pro-face Remote HMI Client for Winを使用の場合は
サーバーリスト画面の左上の[操作]メニュー
⇒ 「追加」
もしくは左上+ボタン

接続

① サーバー名

② 画面名

③ IPアドレス

④ ポート

その他

⑤ コメント

⑥ パスワード保存

Pro-face Remote HMI サーバーに接続するためのパスワードを記憶することができます

⑦ 非同期モードで接続する

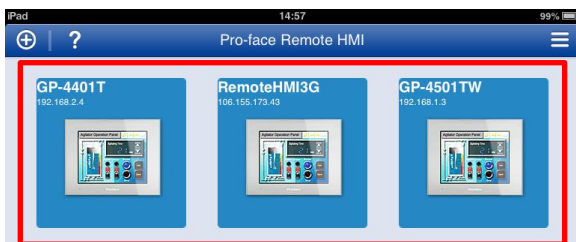
非同期モードで接続を開始することができます

NOTE

・“画面名”は、Pro-face Remote HMI Server

GP-Pro EXの設定、接続先の表示器の設定を参照し、設定を完了します。

- ① 接続する表示器の装置名などをご入力ください。《必須》
- ② サーバーリスト画面に複数のサーバーが登録された際に他のサーバー情報と区別させるために画面名を付けることができます。(日本語入力可)
- ③ サーバーリストに登録しようとしているサーバー(表示器)のIPアドレス。《必須》
- ④ ポート番号。本書7ページ⑤で設定しています。《必須》
- ⑤ サーバーリスト画面に複数のサーバーが登録された際に他のサーバー情報と区別させるために使用できます。(日本語入力可)
- ⑥ サーバーに接続するためのパスワードを記憶することができます。
- ⑦ 非同期モードで接続を開始することができます。

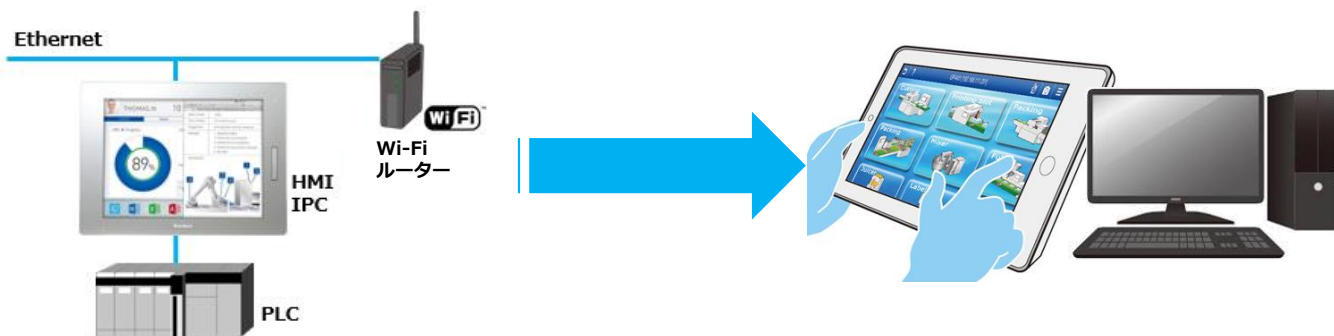


4. アイコンの表示

接続可能な表示器が一覧表示されます

スマートデバイスの設定

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Winを起動し、表示器の登録/接続を行います。



表示器との接続



1. 表示器の選択

サーバーアイコンをタッチ



2. サーバー接続パスワードの入力

サーバーに設定されたパスワードを入力
(本書 7ページ ③ で設定しています)



3. タッチ操作のロック解除

サーバー画面の起動

⇒ 右上の  ボタンをタッチしてロック解除

Pro-face Remote HMI /Pro-face Remote HMI Client for Winメイン画面

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Winの操作はこの画面で行います。

The screenshot shows the main interface of the Pro-face Remote HMI Client for Win on an iPad. The interface includes a top status bar with 'iPad', '17:11', and '充電していま'. Below this is a navigation bar with a back arrow, a question mark, the IP address 'GP-4401T [192.168.2.10]', a hand icon, a camera icon, and a menu icon. The main display area features a 'パネル' (Panel) with a '運転' (Operation) indicator, a 'Temperature Monitor' gauge showing 45, a '攪拌時間' (Stirring Time) digital display at 120 seconds, and control buttons for '攪拌機' (Stirrer) and 'ヒーター' (Heater), both currently 'ON'. There are also buttons for '給水' (Water Supply) and '排水' (Drainage), and an 'エラービット' (Error Bit) indicator. A sidebar on the left shows connection status options: '接続中' (Connected), '同期接続' (Synchronized Connection), and '操作なし' (No Operation). At the bottom right, there are icons for a tablet and a smartphone.

戻る
表示器との通信を切断しサーバーリスト画面に戻ります。

タッチ操作のロック解除
表示器をタッチできる状態にします。

設定
共有、同期/非同期モードなど設定できます。

ヘルプ
表簡易マニュアルを表示します。

スナップショット
表示中の画面をカメラロールに保存します。

インジケーター
スマートデバイス上で接続状態を把握できます。

メインウィンドウ
表示器の画面をモニタ/操作します。

アイコン
表示器上でスマートデバイスの接続状態が把握できます。

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Winの基本設定

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Win の通信や動作設定をご説明します。



設定 本誌ではiOSを使用した設定をご紹介します。



設定画面の起動
 Pro-face Remote HMI を起動
 ⇒ サーバーリスト画面右上のボタン
 ⇒ 「設定」

Pro-face Remote HMI Client for Winを使用の場合は
 サーバーリスト画面の左上の[設定]メニュー
 ⇒ 「アプリケーション設定」



サーバーポート
 設定範囲：5001 ~ 49140

検索応答待ち時間
 設定範囲：1 ~ 30 秒

通信タイムアウト時間
 設定範囲：1 ~ 60 秒

クライアントID
 サーバーがクライアントを識別するためのキー

起動パスワード保存※1
 起動パスワードの入力を省略出来ます。

起動パスワードの変更
 使用ユーザーが変わる際は変更してください。

パスワード画面の省略
 パスワード画面を省略できます。

サーバー設定アイコンの表示
 サーバー情報内に設定アイコンを表示することが出来ます。

IPアドレスの表示
 IPをオフにするとサーバーアイコンが見やすくなります。

※1 Android 版はパスワード入力時に「パスワードを記憶する」というチェックボックスを付けることでも同様の設定が行えます。

全画面表示
サーバー画面を全画面表示できます。

全画面表示

配信画面でサーバー画面を全画面に表示します

タイトルバー表示のタップ位置
全画面表示ON時に選択でき、指定された位置をタップするとタイトルバーが表示します。
選択肢:左上、右上、左下、右下

同期モード背景色
背景色を設定できます。

タイトルバー表示のタップ位置 左上 >

全画面表示中にサーバー画面の指定された位置をタップすると、タイトルバーとツールバーを表示します

同期モード背景色 >

非同期モード背景色
背景色を設定できます。

非同期モード背景色 >

操作設定

操作音
スマートデバイスにタッチ音が付加されます。
※2

バイブレーション

画面のタッチ時にバイブレーションします

バイブレーション
スマートデバイスタッチ時にバイブレーションします。
※3

タッチ操作時のピンチング許可
タッチ操作時にピンチングができます。

操作音

画面のタッチ時に操作音を出します

タッチ操作のロック解除確認
タッチ操作のロック解除時に確認メッセージを表示します。

タッチ操作のロック解除確認

タッチ操作のロック解除時に確認メッセージを表示します

ポーリング周期
設定範囲: 5~3600 秒

タッチ操作時のピンチング許可

タッチ操作のロック解除状態でのピンチングを許可します

アラームモニター設定

アラーム発生状況を監視する
表示器のアラーム発生状況を監視できます。

アラーム発生状況を監視する

サーバーリスト画面でGPのアラーム発生状況監視を有効にします

配信中でも監視する
配信画面でもアラームの監視が出来ます。

ポーリング周期 10

サーバーから最新のアラーム発生状況を取得するための周期時間を設定します

通知音
アラーム発生時にスマートデバイスにタッチ音が付加されます。 ※2

通知音

アラーム検出時に通知音を出します

接続先サーバー
起動時に接続するサーバーを選択できます。起動時動作でサーバー接続が選択されている場合のみ設定可能です。

配信中でも監視する

配信画面でもアラームの監視を継続します

起動時動作設定

起動時動作
Pro-face Remote HMI 起動時の動作を設定します。
設定範囲: サーバーリスト表示、サーバー接続

起動時動作 サーバーリスト >

Pro-face Remote HMI の起動時の動作を設定します

接続先サーバー 未選択 >

Pro-face Remote HMI の起動時に接続するサーバーを設定します

※2 表示器のタッチ音は表示器本体のオフラインで設定してください。
※3 スマートデバイス側にバイブレーションの機能がある場合に限りです。

設定

Pro-face Remote HMI Client for Win使用時のみの設定

アプリケーション設定

通信設定
 サーバ検索用ポート
 検索応答待ち時間
 通信タイムアウト時間
 自動再接続
 クライアントID: 9B93-115A

パスワード設定
 起動パスワード保存
 起動パスワードの変更
 パスワード画面の省略

画面設定
 IPアドレスの表示
 サーバ設定アイコンの表示
 全画面表示
 タイトルバー表示のタップ位置
 同期モード背景色
 非同期モード背景色
 インジケータエリアの表示位置

自動接続
 通信切断が発生した時に自動でサーバに再接続するかどうかを選択できます。
 起動時動作でマルチモニターモードが有効になっている場合のみ設定可能です。

マルチモニターモード
 ひとつのWindows PCやWindows OSのスマートデバイス画面に、最大6つまで画面の複数表示をします。

操作設定
 操作音
 タッチ操作のロック解除確認
 タッチ操作時のピンチング許可

アラームモニター設定
 アラーム発生状況を監視する
 ポーリング周期 秒
 通知音

起動時動作設定
 マルチモニターモード
 起動時動作
 接続先サーバ: 未選択

配信中也監視する
 起動時動作でマルチモニターモードが無効になっている場合のみ設定可能です。
 通知音
 配信中也監視する
 起動時動作設定
 マルチモニターモード

Pro-face Remote HMI/ Pro-face Remote HMI Client for Win のサーバー設定

Pro-face Remote HMI / Pro-face Remote HMI Client for Winに登録されたサーバーの設定をご説明します。



設定

本誌ではiOSを使用した設定をご紹介します。



設定画面の起動

Pro-face Remote HMI を起動
 ⇒ サーバーアイコンを長押し
 ⇒ 「編集」

※ メニューの「画像選択」をタッチすると、スナップショットなどでカメラロールに保存した画像をサーバーアイコンの画像にできます。

「戻る」ボタン
 設定をキャンセルする場合にタッチします。

サーバー名 ※1
 接続する表示器の装置名などをご入力ください（日本語不可）。

ポート
 表示器のポート番号を入力します。

パスワード保存 ※2
 接続パスワードの入力を省略できます。

「完了」ボタン
 設定を反映する場合にタッチします。

画面名
 任意の画面名を付けることができます。日本語で入力できます。

IPアドレス
 表示器のIPを入力します。

コメント
 備考欄です。日本語で入力できます。

非同期モードで接続する
 非同期モードで接続を開始することができます。

※1 表示器本体で設定されているサーバー名は変更されませんが、動作に問題はありません。

※2 Android 版にこの設定項目はありません。

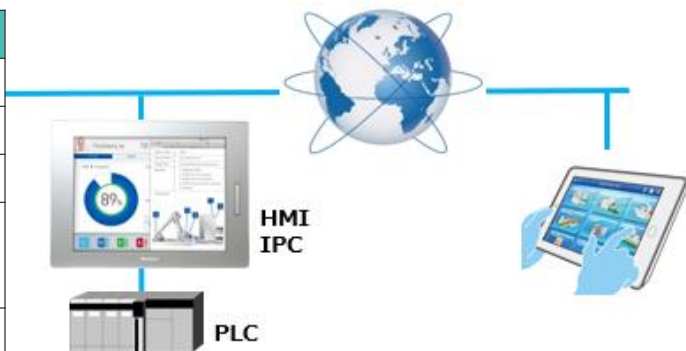
パスワード入力時に「パスワードを記憶する」というチェックボックスを付けることで同様の設定が行えます。

Pro-face Connect LinkManager Mobileを使用する

Pro-face Connect Link Manager Mobileを使用する際の設定をご説明します。

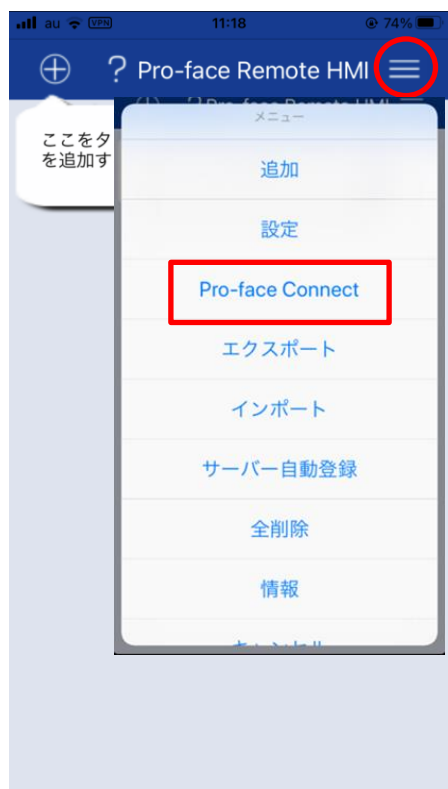
***LinkManager Mobileアカウントとライセンスを取得している必要があります。また、Pro-face Connect LinkManager Mobileを使用する場合は以下の環境を使用する必要があります。**

ソフトウェア	バージョン
iOS	iOS 11-14
Android	Android 5.0-10.00
Pro-face Remote HMI	Ver.1.60以上
Pro-face Connect	GateManager Ver.9.3以上 SiteManager Ver.9.2以上 (Firmware v6121_620087463)
GP-Pro EX	Ver.4.09.200以上



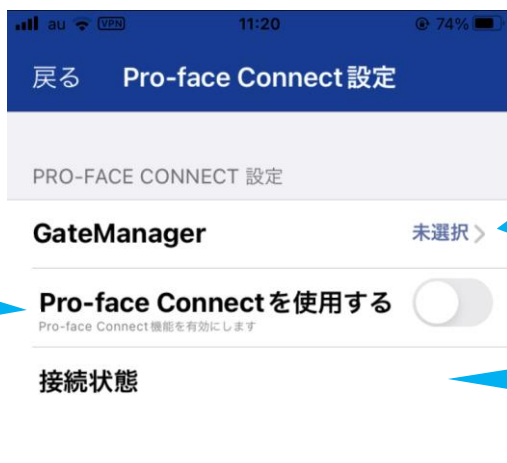
設定

本誌ではiOSを使用した設定をご紹介します。



1. 設定画面の起動

- Pro-face Remote HMI を起動
- ⇒ サーバリスト画面右上のボタン
- ⇒ 「Pro-face Connect」



Pro-face Connectを使用する
Pro-face Connect機能を有効にします。

GateManager
GateManagerの設定を行います。

接続状態
GateManagerとLinkManager Mobileの接続状態を確認できます。



2. GateManagerの追加

Pro-face Connect 設定

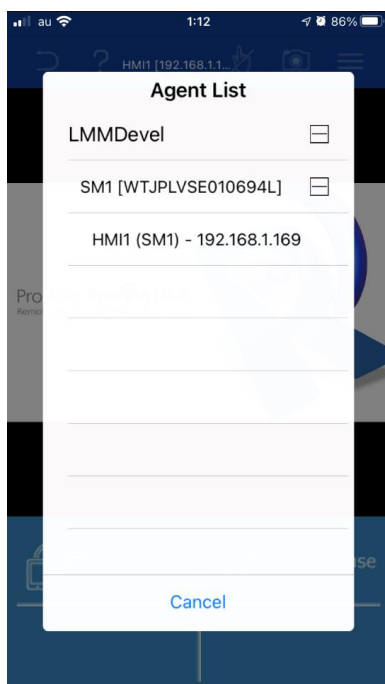
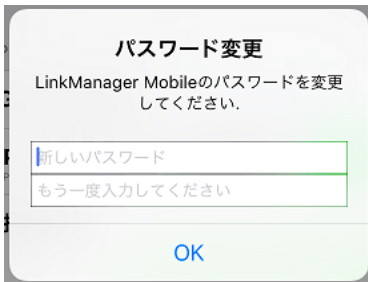
⇒ 「GateManager」

⇒ 「GateManager追加」

3. GateManagerの情報を入力

GateManagerアカウントより、LinkManager Mobileアカウントを作成後、受信したメールを参照して下記情報を入力。

- ① GateManagerホスト名
- ② LinkManager Mobile ユーザー名
- ③ LinkManager Mobileパスワード



4. Pro-face Connectを有効にする

Pro-face Connectを使用する

5. パスワードの変更

LinkManager Mobileアカウントパスワードを更新する為のダイアログが表示された場合はパスワードの変更を行う。

パスワード必須条件	
文字数	8文字以上 * 英大文字、英小文字、数字、記号それぞれ最低1文字含んでいること
使用可能記号	` ~ ! @ # \$ % ^ & * () _ - + = { } [] ¥ : ; " ' < > , . ? /

6. 利用規約の同意

⇒利用規約を読み、同意する

⇒「Continue」

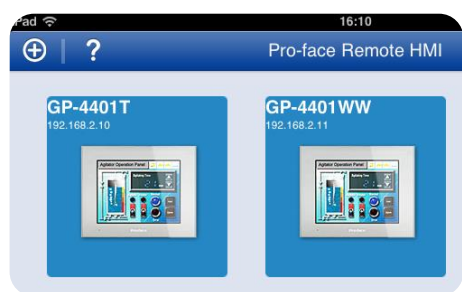
7. 接続する表示器の選択

接続可能なエージェントの情報が読み込まれ、エージェントリストが表示されます。

⇒エージェントリストから接続する表示器を選択

便利な機能 – サーバーアイコンの変更

サーバーリストに表示されたアイコン画像を、お客様の好みに合わせて変更できます。
複数サーバーを1台の Pro-face Remote HMI で管理する場合に便利です。



設定

本誌ではiOSを使用した設定をご紹介します。



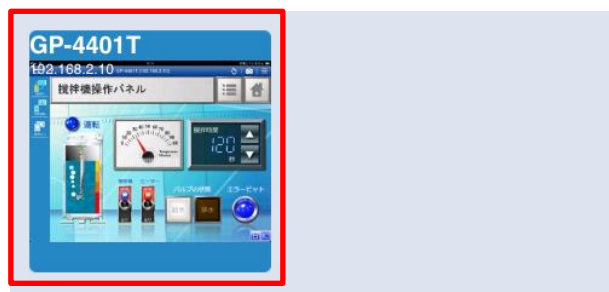
メニュー起動

Pro-face Remote HMI を起動
⇒ サーバーアイコンを長押し
⇒ 「画像選択」



画像選択

「カメラロール」
⇒ 任意の画像を選択
⇒ 「使用」



アイコン変更

画像はアスペクト比を保持した形で
リサイズされます

便利な機能 - サーバーリストのコピー

サーバーリストを、別のスマートデバイスのPro-face Remote HMIへコピーできます。
 同じ設備を複数のPro-face Remote HMIで管理したい場合に便利です。



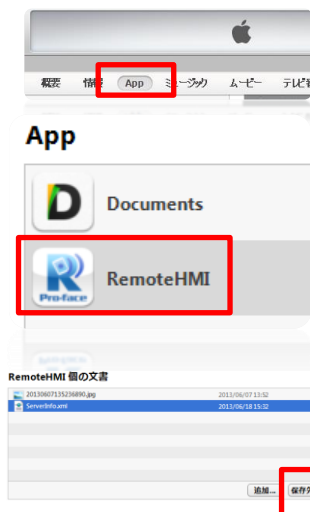
iPad、iPhone 設定

スマートデバイス① (Pro-face Remote HMI)

PC (iTunes) + スマートデバイス①



サーバーリスト画面
 「右上ボタン」
 ⇒ 「エクスポート」



iTunes画面
 PCにスマートデバイスを接続
 ⇒ 上段メニュー「App」

ファイル共有
 Pro-face Remote HMIを選
 択

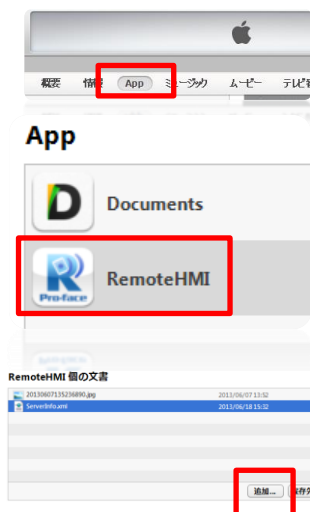
**Pro-face Remote HMI個
 の文書**
 画像ファイルと
 ServerInfo.xml を選択
 ⇒ 「保存先」※

スマートデバイス② (Pro-face Remote HMI)

PC (iTunes) + スマートデバイス②



サーバーリスト画面
 「右上ボタン」
 ⇒ 「インポート」



iTunes画面
 PCにスマートデバイスを接
 続
 ⇒ 上段メニュー「App」

ファイル共有
 Pro-face Remote HMIを選
 択

**Pro-face Remote HMI個
 の文書**
 「追加」
 ⇒ 画像ファイルと
 ServerInfo.xml を選択

便利な機能 – サーバーリストのコピー

サーバーリストを、別のスマートデバイスのPro-face Remote HMIへコピーできます。
 同じ設備を複数のPro-face Remote HMIで管理したい場合に便利です。



Android 設定

スマートデバイス① (Pro-face Remote HMI)

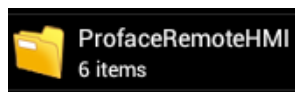
PC + スマートデバイス①



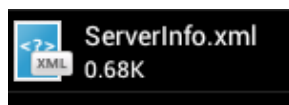
サーバーリスト画面
 「右上ボタン」
 ⇒ 「エクスポート」



エクスプローラー
 PCにスマートデバイスを接続
 ⇒ エクスプローラー起動



フォルダー選択
 スマートデバイスの
 /mnt/sdcard/ProfaceRemoteHMIを選択



ファイル保存
 ServerInfo.xml を任意
 フォルダーへ保存



スマートデバイス② (Pro-face Remote HMI)

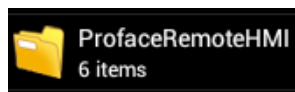
PC+スマートデバイス②



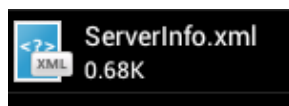
サーバーリスト画面
 「右上ボタン」
 ⇒ 「インポート」



エクスプローラー
 PCにスマートデバイスを接続
 ⇒ エクスプローラー起動



フォルダー選択
 スマートデバイスの
 /mnt/sdcard/ProfaceRemoteHMIを選択



ファイル保存
 任意フォルダーから
 ServerInfo.xml をコピー

※ Android 端末では、サーバーアイコン用画像のエクスポートまたはインポートはできません。

便利な機能 - アラームの状態監視

サーバーリスト画面上で各端末のアラームステータスを監視することができます。
また、配信画面や通知領域で他の接続中サーバーのアラームステータスを監視することができます。



	サーバーリスト	配信画面	通知領域
Remote HMI iOS	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.30以上 GP-Pro EX Ver.4.00以上 	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.41以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上 	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.41以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上
Remote HMI Android	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.30以上 GP-Pro EX Ver.4.00以上 	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.41以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上 	<ul style="list-style-type: none"> Ver.1.41以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上
Remote HMI Client for Win	<ul style="list-style-type: none"> Ver. 1.42以上 GP-Pro EX Ver.4.00以上 	<ul style="list-style-type: none"> Ver. 1.42以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上 Window7未対応 マルチモニターモードを有効時通知なし 	<ul style="list-style-type: none"> Ver. 1.42以上 GP-Pro EX Ver.4.03以上 Window7未対応 マルチモニターモードを有効時通知なし

設定

アラームモニター設定

アラーム発生状況を監視する

サーバーリスト画面でGPのアラーム発生状況監視を有効にします



ポーリング周期

サーバーから最新のアラーム発生状況を取得するための周期時間を設定します

10

通知音

アラーム検出時に通知音を出します



配信中も監視する *1

配信画面でもアラームの監視を継続します



設定画面の起動

Pro-face Remote HMI を起動

⇒ サーバーリスト画面右上のボタン

⇒ 「設定」

Pro-face Remote HMI Client for Winを使用の場合はサーバーリスト画面の左上の[設定]メニュー

⇒ 「アプリケーション設定」

*1: マルチモニターモード無効時のみ設定可能です。

サーバーリスト画面



配信画面



通知領域



便利な機能 – ディープリンク

GP-Pro EXのアラーム機能と連携させてPro-face Remote HMIをコマンドから実行できる機能です。ディープリンクの文字列はリンクとして認識され、このリンクからPro-face Remote HMIを起動することができます。リンクから自動的に該当画面へ遷移することも可能です。

***Pro-face Remote HMI Client for Winでは使用できません。**



ソフトウェア	バージョン
iOS	iOS 11以上
Android	Android 8.0以上
Pro-face Remote HMI	Ver.1.50以上
GP-Pro EX	Ver.4.09.100以上

iOS使用時の設定

ディープリンクは以下のルールに沿って作成してください。

RemoteHMI://localhost/connectto?Server=Server001&IP=0.0.0.0&Screen=Screen99



	説明	大文字/ 小文字 の区別	記載なしの 場合 *1 Remote HMI起動	記載なしの 場合 *1 サーバー画 面表示	その他
①	ディープリンクスキーム (固定)	無	×	×	
②	ホスト名 (固定)	無	○	×	定義されていないサーバーを指定した場合はアプリのみ起動。 重複している場合はより後ろにあるものが優先されます。
③	パス(固定)	無			
④	サーバーの情報	無			
⑤	サーバーのIP アドレス	無			IPアドレスが2つ設定可能な機種の場合は以下のように定義してください。 例)IP1=192.168.1.100&IP2=192.168.2.100
⑥	配信画面情報	無	○	○ *2	Pro-face Remote HMI Serverの画面配信を設定している場合に使用します。 HMIがサーバーの場合(SPパワーボックスやWinGPなど)は設定不要です。(IPアドレス記載後の&以降が不要になります)

***1**

①～⑤(もしくは⑥)全て○の



②～⑤のどれかで×が



***:** ①がOKの場合アプリが起動します。①+②～⑤全てがOKの場合は画面に移行しますが②～⑤のうち1つでもNGがあった場合はアプリの起動のみで画面移行を行いません。

***2:** Pro-face Remote HMI Serverを設定している場合でも⑥を記載しなかった場合は⑤に記載のIPアドレスがWinGPの場合はWinGPの画面を表示します。

⑥の記載に不備がある(例:&Screen=Screen で終わってるなど)場合はサーバーリストが表示されます。

使用可能文字列は以下となります。これら以外の文字列を使用した場合はUTF-8へ変換されて入力されます。

・半角英字、半角数字、記号 ./_@+

Android使用時の設定

ディープリンクは以下のルールに沿って作成してください。

<http://com.proface.remotehmi/connectto?Server=Server001&IP=0.0.0.0&Screen=Screen99>



	説明	大文字/ 小文字 の区別	記載なしの 場合 *1 Remote HMI起動	記載なしの 場合 *1 サーバー画 面表示	その他
①	ディープリンクスキーム (固定)	有 小文字のみ使用可能	×	×	
②	ホスト名 (固定)	無			
③	パス(固定)	無	○	×	
④	サーバーの情報	無			定義されていないサーバーを指定した場合はアプリのみ起動。 重複している場合はより後ろにあるもの優先。
⑤	サーバーのIPアドレス	無			IPアドレスが2つ設定可能な機種の場合は以下のように定義してください。 例)IP1=192.168.1.100&IP2=192.168.2.100
⑥	配信画面情報	無	○	○ *2	Pro-face Remote HMI Serverの画面配信を設定している場合に使用します。 HMIがサーバーの場合(SPパワーボックスやWinGPなど)は設定不要です。(IPアドレス記載後の&以降が不要になります)

*1

①～⑤(もしくは⑥)全て○の



もしくは⑥が指定されている場合 →

③～⑤のどれかで×があ



*①+②がOKの場合アプリが起動します。①②+③～⑤全てがOKの場合は画面に移行しますが③～⑤のうち1つでもNGがあった場合はアプリの起動のみで画面移行を行いません。

*2: Pro-face Remote HMI Serverを設定している場合でも⑥を記載しなかった場合は⑤に記載のIPアドレスがWinGPの場合はWinGPの画面を表示します。

⑥の記載に不備がある(例:&Screen=Screen で終わってるなど)場合はサーバーリストが表示されます。

使用可能文字列は以下となります。これら以外の文字列を使用した場合はUTF-8へ変換されて入力されます。

・半角英字、半角数字、記号 .-/_@+

「Pro-face製品 サポート 〈おたすけPro!〉」には、 様々なサポートコンテンツをご用意しています。

設計時間の短縮に役立つQ&Aやトレーニング情報、各種アップデート情報など、必要な情報は、すべてここからダウンロードできます。

- マニュアル ● サンプル集 ● アップデートモジュール ● 海外規格証明書 ● 輸出書類PDF
- つながる機器 ● 置換え情報 ● おたすけリプレイス

警告

本誌に掲載している製品を正しくご使用いただくために、以下の用法をお守りください。

●ご使用前に必ずマニュアル、およびその他付属する書類をよくお読みください。●据付け・接続・保守は、必ず電気設備の施工法、関連法規などを熟知し、かつ適切な技能を有する方が行うようにしてください。これらを守らずに使用した結果、人命に関わる重傷や機器の損傷、その他いかなる結果が生じても弊社は一切の責任を負わないものとします。

proface.co.jp

Pro-face Remote HMIの詳細情報はWebサイトをご覧ください。

<https://www.proface.com/ja/product/soft/remotehmi/top>

シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社

製品に関するお問い合わせは、シュナイダーエレクトリックカスタマーケアセンターまで
平日 9:00~19:00 土日祝日（弊社指定の休業日を除く） 9:00~12:00、13:00~17:00



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-056-800

一部、IP電話などで統一ダイヤルがつかない場合は、以下におかけください。

東京：03-5931-7809 名古屋：052-961-3695 大阪：06-7175-9637

●本誌に記載している会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。●写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。●掲載した内容は、製品改良のため予告なく変更する場合がございます。

ご用命は…